



幸楽苑だより



発行元：介護老人保健施設 宇部幸楽苑
発行日：令和8年 3月1日
TEL 0836-51-3113 FAX 0836-51-5522

「明るく 優しく 敬意をもって」

宇部幸楽苑 支援相談員 有吉 真彦

2026年2月8日の衆議院議員選挙にて、自民党の歴史的圧勝に終わったことは記憶に新しいと思います。2月18日には高市早苗首相が第105代内閣総理大臣に選出され、第2次高市内閣を発足されました。日本では初めての女性首相となり、所信表明演説で「赤字に苦しむ医療機関や介護施設への対応は待たれなすである」と医療・介護現場の経済対策にも触れられました。現在介護業界が抱える課題は、働いている私たちが一番感じている問題で、高市首相の言葉は明るい希望がみえた瞬間でした。

- ① 介護業界の課題としては、2025年問題・2040年問題による要介護者の増加（2025年に団塊の世代が75歳以上になった。2040年には団塊ジュニア世代が高齢者となる）
- ② 介護人材不足（薄給、激務で労働条件のマイナスイメージで敬遠される）
- ③ 介護施設倒産の増加（物価高、人材不足、収益性の悪化など）
- ④ 老老介護・認認介護（老老介護とは65歳以上の高齢者が65歳以上の高齢者を介護。認認介護とは認知症を患った高齢者が認知症の方を介護し合っている状態）
- ⑤ ヤングケアラー問題（18歳未満の未成年が家族を介護する）
- ⑥ 社会保障財源の不足（少子高齢化が進み、介護費用や医療費がかさみ財源確保が困難）が挙げられます。

しかし、介護業界も問題解決には

- ① 介護DXによる業務効率化・生産性向上（ICTの活用・介護ロボットや見守りセンサーなど）
 - ② 介護職員の待遇改善
 - ③ 介護職の社会的地位の向上
 - ④ 介護職のメンタルケア（職員のストレスチェック、相談窓口の設置など）
 - ⑤ 雇用形態の種類の増加（正社員だけでなく、パート、アルバイトなど）
- で対応しております。
2026年度、介護保険制度には2つ動きがあります。

1つ目は、高市内閣による介護職員の処遇改善。2つ目は、「介護情報基盤」（介護に関する情報を電子的に閲覧・共有できる仕組み）が完了した市町村から順次利用できる見込みです。

*本格的運用は2028年4月1日の予定となっております。

今後、介護を取り巻く環境がどのような方向に向かっているかは実際のところ分かりません。介護を必要とされる方はもちろん、介護をする者も報われる、バランスの取れた社会であってほしいと思います。

参考文献：tyto care（介護業界が直面する課題と取るべき対策を詳しく解説）

「防災訓練」

この度、幸楽苑で防災訓練を実施しました。毎年この時期に行います。実際に参加する職員は役割の把握や、多くの職員の見学があるので緊張します。

今回は火災訓練でしたが、いずれ来るといわれている南海トラフ大地震をはじめ、様々な災害に対応する必要があります。日頃から消火器の場所、消防設備の使い方などを把握し、見つめ直す良い機会になりました。

皆様もこれを機会に一度防災について考えてみてください。



防災訓練



「徒然なるままに…」

2階 看護師 山崎 佳代子

私には二つの趣味があります。

一つ目はプロ野球観戦です。我が家は阪神タイガースと広島カープを応援しています。広島球場や甲子園球場に見に行き、応援するのが楽しみの一つです。ファンの応援は勝っている時には周りのお客さん達とハイタッチし、一体感が生まれます。負けている時はヤジが飛びます。これがまさに愛と憎でしょうか？(笑)。最近広島カープは低迷していますが、阪神タイガースは優勝しているのでとても楽しいです。

私は野球好きで中学生の時にはソフトボール部に所属し、毎日ボールを追いかけバットを振り回していました(笑)

二つ目は御朱印集めです。

それぞれの神社にはオリジナルの御朱印があるので、毎月参拝して廻ります。特に2月29日の4年に一度や、11月29日のいい福の日には、下関の亀山八幡宮でその日限りの御朱印がいただけます。山口県内だけでなく特に京都の御朱印集めはとても楽しいです。でも、御朱印にはお金が掛かり、私は御朱印貧乏です(笑)

こんなに参拝しているのですか

ら神様どうかどうか、私のお願い

(お金持ちになりたい)を叶えてください(笑)

